

### 糖尿病患者や地震、ペット対象も



さまざまな種類が出ているミニ保険のパンフレット

## ニッチで手軽なミニ保険

割安な保険料で手軽な補償が受けられる少額短期保険(ミニ保険)が好評だ。従来の保険ではカバーできなかったニッチな分野を対象とするのが特長で、小型商品ならではの使い勝手の良さも見逃せない利点だ。

は糖尿病で懸念される合併症への補償が手厚いほか、加入年齢も幅広く若年層ほど割安になるのが特長。保険期間は1年の更新型、月額保険料1300円(14歳の女性)で入院・手術費が最大80万円給付される。

#### 補完的利用

万一に備える地震保険は火災保険とセットでの契約が必要な上、補償額も火災保険補償額の50%に制限される。日本震

災パートナーズの地震ま。保険アドバイザー費用保険「リスタ」は地震保険だけでは不足しがちな被災後の生活費用を補い、住宅全壊の場合、世帯人数に応じ最大300万~900万円を受け取れる。同社の多田健太郎社長は「地震保険は時価基準なので補償限度額が年々下がり、古い建物ほど被災時の生活再建費用が不足する。リスタは定額の補償が継続する」と利点を強調する。

#### 発展途上

少額短期保険会社(66社)は、大手が関心を示さない「スキ間」を狙ったビジネスだけに経営基盤も弱く、黒字経営も十数社にとどまる発展途上の業態だ。オレンジ共済詐欺事件を契機に経営の不透明さが指摘された無認可共済への歯止めとして2006年に法制化され、規模は小さいものの保険会社と同様、金融庁による厳しい審査もある。少額短期保険会社の幹部は「商品開発のハードルが高すぎる。経営の健全性は担保されるが商品に魅力がなければとっつきかずに」と訴える。

日本少額短期保険協会の百合本勇事務局長は「社会的に価値のあるいい商品も出ているが収益が追いついていかず悩ましい。契約者保護の観点から、まずは健全経営の枠内でサービス向上を目指す」と話している。

## 健全性前提に商品開発模索

### いろいろなミニ保険

企業	商品名	対象・内容
日本震災パートナーズ	リスタ	地震被災
ペット&ファミリー少額短期保険	げんきナンバーわん	犬・猫
エクセルエイド少額短期保険	だいがびーてぃーず80	糖尿病患者
ぜんち共済	ぜんちのあんしん保険	知的障害者・てんかん患者
リロ少額短期保険	ソラティア	従業員の慰労金支払い
メモリード・ライフ	1年定期保険	葬儀費用を即時支払

「入れる保険がなくて困っていた。わずかな保険料で入院費が出るので心強い味方です」。鹿児島市内のパート従業員、木戸道子さん(44)は仮名。IIは糖尿病を患う一人娘の中学3年、宏子さん(14)はIIのために国内初の糖尿病患者向け医療保険「Diabetes(だいがびーてぃーず)80」(エクセルエイド少額短期保険)に昨年3月加入した。

宏子さんは小学校3年の時、突然倒れ1型糖尿病

病と診断された。高血糖による体調不良で夜も眠れず、昨年も入院を繰り返している。この保険